

「保育職場ハッピーワーク！」だよい

令和7年度福島市・保育士の働きやすい職場づくり事業通信

令和7年12月発行

保育士・保育教諭の皆さん こんにちは！

福島市幼保支援課では、「保育職場ハッピーワーク！」施設訪問を行い、働きやすい職場づくりのために工夫をされてきた施設をご紹介しています。

あづまこども園

今回ご紹介するのは、
あづまこども園です。
職員が楽しく働ける
環境を目指しています。



園長先生に聞いてみました！

Q. 働きやすい職場づくりのためにどんなことに取り組んでいますか？

A. 「日頃から職員に積極的に声をかけるようにしています。コミュニケーションをとることが大切だと思うので意識しています。」

「困ったときは園長先生に相談しています！」と、皆さん園長先生を頼りにしているようです。園長先生の姿勢が職員の皆さんに安心感をもたらし、信頼関係の築きやあたたかい園全体の雰囲気に繋がっているようです。

お互い様の気持ちで休みも取りやすい！！

子育て中でも安心♡



子どもが熱を出した時は、「休んで大丈夫だよ。大事にしてね」と言っていただき、とてもありがとうございます。「子どもの体調が良くなったら、仕事を頑張るぞ！」という気持ちになります。

産休に入るときは「がんばってね！待ってるね！」と送り出してくれました。

育休中に遊びに行っても、毎回皆さん快く迎えてくれました。赤ちゃんも抱っこしてもらい嬉しかったです。育休中も園や先生たちと関係が途切れないので、復帰の不安はありませんでした。

男性保育士
も頑張って
います!!



女性の多い職場ですが、やりづらさを感じたことはありません。学生の時から女子に囲まれていたので平気です！先輩は何でも教えてくれるし、相談もしやすいです。

男性保育士がいて良かったことはありますか？

・若くて元気いっぱいな2人。保育をしている姿から、こちらも元気パワーをもらっています。

・子どもとのダイナミックな関わりに、女性には無い魅力を感じています。

お互いを尊敬しあう関係性が素敵ですね！

保育士の皆さんのが、保育の仕事にやりがいと楽しさを感じながら働き続けることができるよう、各保育施設でも働きやすい職場の風土づくりに向けての取り組みをお願い致します。今年度の事業を福島市ホームページにも掲載しております。

発行：福島市幼保支援課 ☎572-3122